

概要版

# いびがわ次世代育成支援行動計画

〈後期〉

平成22年度～平成26年度

ふれあいが育む  
子どものほほえみに満ちたまちづくり



平成22年3月  
揖斐川町

## 次世代育成支援行動計画とは

この計画は、地方公共団体等に対して、次世代育成支援対策の実施に関する行動計画策定を義務づける「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画であり、揖斐川町子どもたちが健やかに生まれ育つことができる環境の整備を推進するための基本指針となるものです。

社会情勢の変化に対応し、時代に即した子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、平成26年度を目標年度に、行政と地域社会全体で子どもの育ちと子育てを支援する具体的施策を示します。

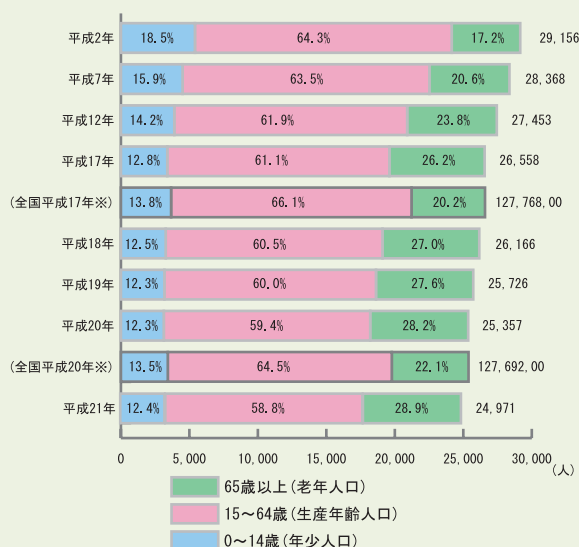
## 計画の背景

わが国の出生数は、年々減少し続けています。戦後の第一次ベビーブーム（昭和22～24年）には毎年約260万人の子どもが生まれていましたが、平成20年現在では約109万人となっています。

また、女性が一生の間に出産する子どもの数を表した合計特殊出生率の推移をみると、昭和22年には4.54であったものが、平成20年には1.37となっています。

全国的に進む少子高齢化の中においても、揖斐川町はこの傾向が顕著であり、社会保障制度の維持をはじめとして社会経済のあらゆる面に大きな影響を与えるとともに、地域社会から子どもの姿が見られなくなることにより、地域の活力が失われることが懸念されています。

## 揖斐川町の人口推移（年齢3区分）



資料：全国 総務省統計局（各年10月1日現在）  
 揖斐川町 国勢調査（平成2年～12年）  
 住民基本台帳（平成17年以降の各年4月1日現在）  
 ※ 全国の人口については揖斐川町の人口に割り戻して、3区分の割合に算出して、比較しています。

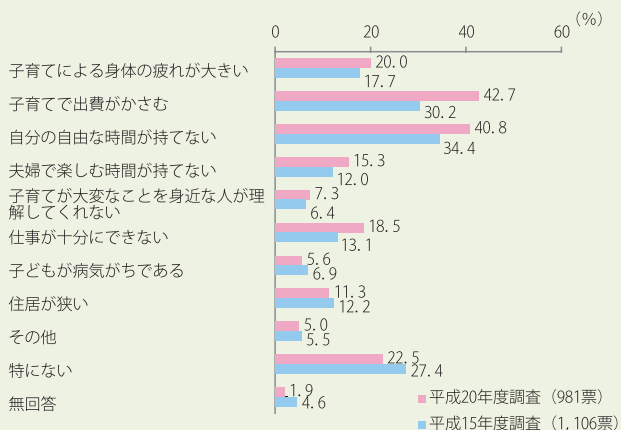
## 揖斐川町の取り組み

平成20年度には本計画策定の基礎データとなる「子育て支援に関するアンケート調査」を統一的に実施しました。平成21年度からは本計画の素案作成を中心に前期行動計画の評価をもとに現状・課題の整理と今後の施策の方向性について検討してきました。

策定にあたっては、学識経験者、保育関係者、教育関係者、医療・保健関係者、地域福祉関係者、公益団体代表、保護者代表等による「揖斐川町次世代育成支援行動計画策定委員会」を設置し、計画の内容を審議しました。また、ワーキンググループとして庁内関係課による横断的な検討と総合調整を行いました。

## 子育て支援に関するアンケート調査

子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいること



調査対象：町内の就学前児童および小学生の保護者（全数、平成21年3月1日現在）  
 回収結果：就学前児童（0～6歳）981票 小学生（1～6年生）1,272票  
 調査期間：平成21年3月2日～3月12日

# 基本計画

揖斐川町のすべての子どもと子育て家庭を支援するため、基本理念と4つの基本目標を定め、それに基づいて施策・事業を推進していきます。

## 基本理念

### ふれあいが育む 子どものほほえみに満ちた まちづくり

豊かな自然に抱かれたふるさとの山々に子どもたちの遊ぶ声が響きます。ほほえみに満ちた笑い声は、まちの明日を明るく照らし、活気を与えてくれます。

しかし、子どもの数は年々少なくなっています。また、子どもを取り巻く状況を見ると、保護者の育児不安、子どもへの虐待、ひきこもりや不登校、いじめ、子どもがかかわった犯罪・・・と、子どもの笑顔を曇らすような問題がこの地域にも現れ始めました。子どもの笑顔は、親や家庭のみならず地域全体の未来をかがやかすみんなの宝物です。これを見守り、育てていくのが地域社会の役目であり、あたたかいふるさとづくりの原点といえます。緑豊かな自然の中で、多くの人々の支えとふれあいを通じて、人を思いやるこころと健やかな心身を育み、子どもが、親が、地域がつながり、かがやきながら成長していくまちづくりをめざします。

## 基本目標

### 基本目標 1

親と子の学びと育ちを  
支える環境づくり

### 基本目標 2

すべての子育て家庭を  
支える環境づくり

### 基本目標 3

健やかに生み育てる  
環境づくり

### 基本目標 4

子どもが安全に安心して  
暮らせる環境づくり

## 基本目標1 親と子の学びと育ちを支える環境づくり

明日の揖斐川町を担う子どもたちが明るい希望を抱き、自分の力でたくましく育っていけるよう、家庭と学校、地域が一体となって子育て支援を行い、子どもの立場に立った、夢のあるまちづくりをめざします。また、次代の親となる子どもたちに、子どもを生き育てる喜びを伝え、こころあたたかく豊かな人間性を育てていきます。

### 子どもの健全育成対策の充実



子どもたちが、夢を抱きながら自分の力で生きていくためには、問題を解決する力や人を思いやるころ、たくましく生きるための健康な心身を育むことが重要です。家庭や学校だけでなく、地域の高齢者や自然とふれあうことなど地域ぐるみで子どもの健全育成を図っていきます。

#### 取り組みの方向性

- ・地域活動の推進
- ・遊び場の充実
- ★ 公民館等の既存施設の活用
- ・地域の歴史・環境教育の推進
- ・スポーツ環境の整備
- ・豊かな感性を磨く活動の充実
- ・国際意識・理解の促進

### 教育環境の充実

保育・教育の現場の改善が進み、自立して生きる力や思いやりのころを身につけることができる教育環境をつくっていきます。また、いじめ、不登校、非行等の問題に対して、教育相談体制のさらなる充実強化を図ります。

#### 取り組みの方向性

- ・幼児教育の充実
- ★ 創意工夫した幼児教育の促進
- ・学校教育の充実
- ・教育・保育の連携
- ・相談・支援の充実



### 次代の親の育成



今の子どもたちや若い世代は、きょうだいの数が少なく、子どもの世話をした経験も少なく、育児に通じる体験などが希薄になっていると言われています。男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生き育てる喜びを次代の親に伝え、豊かな人間性や自立して生きる力を育む取り組みを進めます。

#### 取り組みの方向性

- ・若い世代の子育て意識の醸成
- ・男女ともに関わる子育ての推進
- ・地域の子育て意識の醸成
- ・若い世代の自立促進

## 基本目標2 すべての子育て家庭を支える環境づくり

親は子育ての最高責任者であり、その責任の重さは計り知れません。それを肩代わりすることは誰にもできませんが、支えることはできます。すべての親が喜びを感じながら、安心していきいきと子育てができるよう、多様なニーズに応じた保育・子育て支援策の充実を図るとともに、地域のさまざまな人々が子どもと子育て家庭をあたたく見守っていける環境づくりを進めていきます。

### 保育・子育て支援策の充実

「子どもは親の愛情を受けて育てられ、親は安心して子育てをする」ための支えとなる保育・子育て支援策を検討する必要があります。

しかも、就労形態の多様化等により保育支援は柔軟な対応が求められています。また、幼稚園・保育園や幼稚園は子どもをはじめさまざまな人との交流の場であり、人間形成の重要なステージとして親の期待も高まっています。

子どものしあわせを第一に考えながら各種保育・子育て支援策の充実を図り、情報提供や相談体制の推進に努めます。

#### 取り組みの方向性

- ・ 特別保育等の充実
- ・ 緊急時における子育て支援の充実
- ★ ショートステイ、トワイライトの実施
- ・ 保育・子育て支援に関する相談・情報提供の充実



### 地域における子育て支援の充実

核家族化や地域の子育て環境の変化により、子育てに対する負担や不安が高まっています。安心して気軽に子育てができるよう、地域の子育て支援環境の充実を図るとともに、ボランティアに対する意識を高め、住民主体による子育て支援を促進します。

#### 取り組みの方向性

- ・ 子育て支援センターの充実
- ★ 揖斐川子育て支援センターの中心的、補完的役割の充実
- ・ 留守家庭児童教室の充実
- ・ 住民主体の子育て支援

### 特別な援助を要する子どもへの対応

障がいの有無や親の状況に関わりなく、乳幼児期から社会人へと切れ目のない、一人ひとりの多様なニーズに応じた支援を推進します。地域住民のノーマライゼーションへの理解を深め、支援のあり方を普及、啓発します。

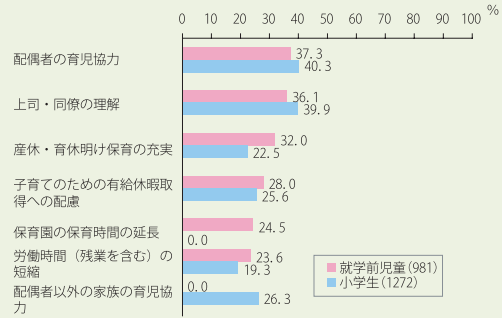
#### 取り組みの方向性

- ・ 障がいのある子どもの保育・教育の充実
- ★ タイムケア事業の充実（＝放課後等の一時預かり）
- ・ ひとり親家庭の自立支援の推進

## 平成26年度推計ニーズ量/目標事業量

通常保育事業	460人
延長保育事業	30人1か所
休日保育事業	20人1か所
病後児保育事業	30日1か所
一時預かり事業	600日1か所
留守家庭児童教室	170人7か所
地域子育て支援拠点事業	1か所

## 子育て支援に関するアンケート調査 女性が子育てをしながら働き続けるために必要なこと



## 仕事と子育ての両立の推進

アンケート結果から、女性が子育てをしながら働き続けるために必要なこととして「配偶者の育児協力」、「上司・同僚の理解」、「産休・育休明け保育の充実」との回答が多く、仕事と子育ての両立は、働く親にとって大きな課題となっています。

再就職したいと考えている母親も多く、働きながらゆとりを持って子育てできるように、企業等の理解を得ながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を進めていきます。

## 取り組みの方向性

- ・ 育児・介護休業制度等の普及促進
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現の推進
- ・ 育児中の母親の再就職支援
- ★ 男性の子育てへの参加、事業所の子育て家庭への支援を啓発

## 子育ての経済的負担の軽減

近年の世界的不況の影響により、雇用情勢は一段と厳しくなり、子育てに関する経済的負担は精神的負担や身体的負担とともに、子育て家庭にとって大きな課題となっています。子育てに関する手当の支給、保育料・教育費や医療費等の負担軽減を図るとともに、子育て家庭への制度に関する情報の周知を図ります。

## 取り組みの方向性

- ・ 各種手当等の支給
- ・ 保育料・教育費の負担軽減
- ・ 医療費等の負担軽減



## 子どもと家族の人権を守るための支援

近年では、家庭での子どもへの虐待やDV（ドメスティック・バイオレンス）など人権を侵害する虐待は決して特殊なことではなく、誰にでも起こり得ることです。すべての住民が人権についての理解を深め、自分自身と他人の人権を尊重できるように周知啓発に努めます。児童虐待やDVなどの予防啓発や早期対策に取り組み、地域の見守りを強化する体制づくりを進めます。

## 取り組みの方向性

- ・ 子どもの人権に関する啓発
- ・ 児童虐待防止ネットワーク等の充実
- ★ 揖斐川町要保護児童、高齢者虐待、DV防止地域対策協議会（平成19年1月設置）による取り組み

## 基本目標③ 健やかに生み育てる環境づくり基本目標

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つことは、誰もが抱く共通の願いです。その実現を目指し、心妊娠から出産、学齢期にいたるきめ細かな母子保健サービスの提供と小児医療体制の充実に努めます。また、子どもの発達に応じた食育の実践、思春期の子どもへの性教育、こころの健康づくりなどに取り組んでいきます。

### 子どもと親の健康の確保と増進

妊娠から出産、乳幼児期を通じて、子どもと親の健康の確保と主体的な健康づくりを支援するため、母子保健事業の充実を図ります。

#### 取り組みの方向性

- 安全な妊娠と出産の確保
- ★ 訪問指導の充実
- 母子の健康の保持と増進
- 保健指導・教室の充実

### 食育の推進

毎日の食事によって、身体がつくられ、食事の質によって健康の質が決まります。生涯にわたって健康で暮らしていくためには、“食”に対する意識が重要です。そのため、子どもをめぐるさまざまな場面での食育を推進します。

#### 取り組みの方向性

- 妊娠期からの生涯を通じた食育の推進
- ★ 地域における食育の推進



### 小児医療等の充実

子どもの健やかな発育、発達を推進するためには、小児医療体制を確立することが大切です。関係機関との連携により、子どもの命・母子の健康を守るための体制を整備していきます。

#### 取り組みの方向性

- 救急医療体制の充実
- 不妊治療、小児医療等への支援



### 思春期の保健対策の充実

思春期は、生涯にわたる健康づくりや、母性・父性を育成するうえで重要な時期となるため、思春期に対する健康教育や相談体制の充実を図ります。

#### 取り組みの方向性

- 相談体制の充実
- 健康教育の充実

## 基本目標4 子どもが安全に安心して暮らせる環境づくり

外で遊ぶ子どもの声は、まちに彩りを与え、活気づかせます。子どもたちが犯罪や事故・災害の被害者になることなく、安心して快適に暮らせる生活環境を、住民と行政の協働により築いていきます。

### 子どもの安全確保

子どもが安心して外出でき、のびのびと活動できるよう、地域を中心に関連機関の連携強化を図りながら、交通事故や犯罪、災害から子どもを守るための活動を充実します。

#### 取り組みの方向性

- 交通安全対策の充実
- 防犯・防災対策の充実
- ★地域の防犯ボランティアの育成

### 子育てに配慮した生活環境の整備

すべての住民が、ゆとりを持って生活でき、安心して外出できるよう、すべての人にやさしいまちづくりの視点で住環境や公共施設等の整備を推進していきます。また、町の豊かな自然に親しんでいる子どもたちが、それを誇りに思い、次の世代に継承できるように、地域ぐるみで里山や河川の保全に取り組む活動を推進します。

#### 取り組みの方向性

- 良好な住環境の整備
- 誰もが利用しやすい公共施設等の整備
- 自然環境の保全



## 計画の推進

### 推進体制の整備

関係課の有機的な連携や緊密な調整を行い、全庁的な取り組みを図ります。

幼稚園・保育園、幼稚園、学校、子育て支援センター、保健センターなどの専門機関、子ども会、子育てサークル、ボランティア、さらにNPOなど子育てや児童健全育成に関わる様々な住民団体や個人の活動を支援します。

### 住民と行政による協働の推進

住民と行政が一体となってより効果のある計画推進に向け、行政関係機関と住民代表で構成する「揖斐川町次世代育成支援対策地域協議会」により、毎年度の各事業の進捗管理をしていきます。

### 計画の進行管理

計画の適切な進行管理にあたり、施策の点検、評価を行い、各種施策の新たな課題を把握し、今後の施策運営に役立てます。

いびがわ次世代育成支援行動計画（後期） 概要版

発行年月：平成22年3月

発行 揖斐川町  
編集 住民福祉部子育て支援課  
揖斐郡揖斐川町三輪133